

国道159号(浅野川大橋～東山～山の上)交通安全対策協議会

# 社会実験継続後の 対応について

平成19年9月27日



1

## 第3回協議会での決定事項

- ①平成19年9月末までを目処に社会実験を継続する。
- ②継続期間中、協議会メンバー主体の朝の街頭指導を月1回ペース(夏休み期間中は除く)で実施する。
- ③CCTVによる自転車走行実態の継続的なモニタリングを行い、社会実験による効果検証の一助とする。
- ④社会実験の効果や課題について広く公表し、各種メディアとの連携による継続的な広報活動を行う。
- ⑤「自転車利用者が危険に感じている箇所」など、より具体的に課題を把握し、対策について検討・実施する。
- ⑥9月中に第4回協議会を開催し、「実施」の可否の判断を行う。

2

# 1. 社会実験継続後の活動内容

## (1) 街頭指導の実施

- ◆街頭指導を2回実施(7/13、9/21)
- ⇒課題に対応した指導を実践(信号順守等)

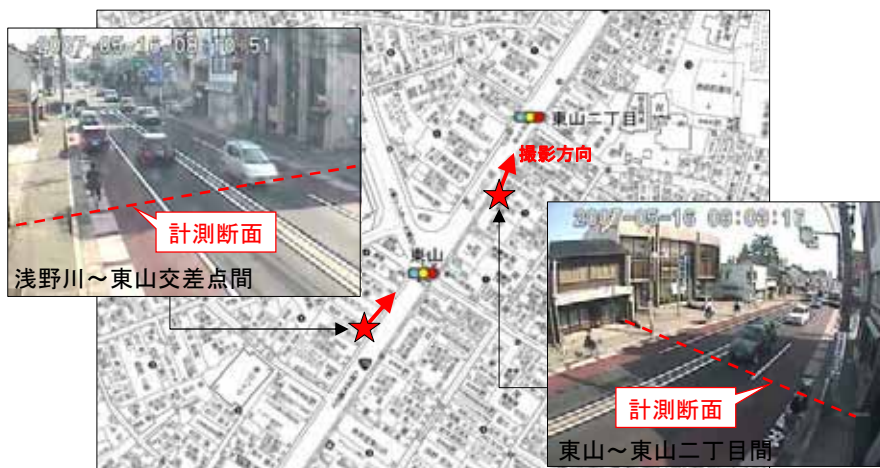


3

# 1. 社会実験継続後の活動内容

## (2) 自転車走行実態の把握

- ◆CCTV(道路監視カメラ)で対象区間をモニタリング
- ◆朝のバスレーン時間帯と夕方ピーク時の状況を確認



4

# 1. 社会実験継続後の活動内容

## (2) 自転車走行実態の把握

CCTVのモニタリングに加えて  
現地調査を実施

調査日時:平成19年9月26日(水)  
7~19時(12時間調査)

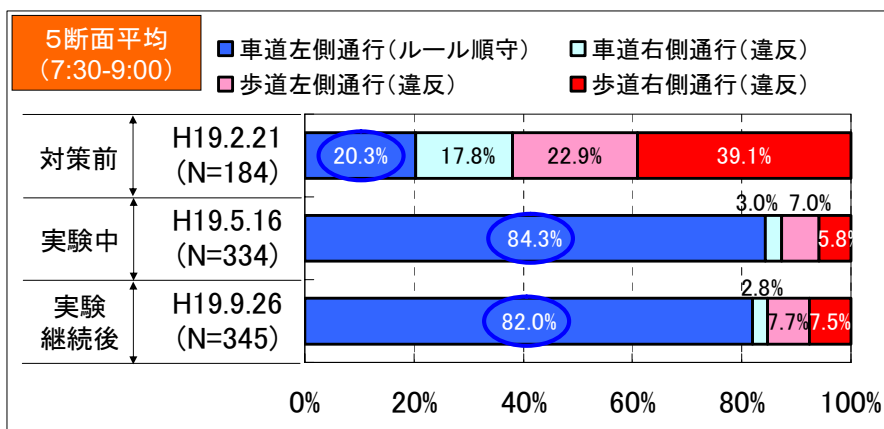
調査箇所:左図の5つの断面  
(2/21、5/16の調査と同様)



# 1. 社会実験継続後の活動内容

## ①朝のバスレーン時間帯 (区間全体)

◆対策後、ルール順守率は2割から8割に増加!  
⇒指導帯設置 & 街頭・学校等での指導強化の成果

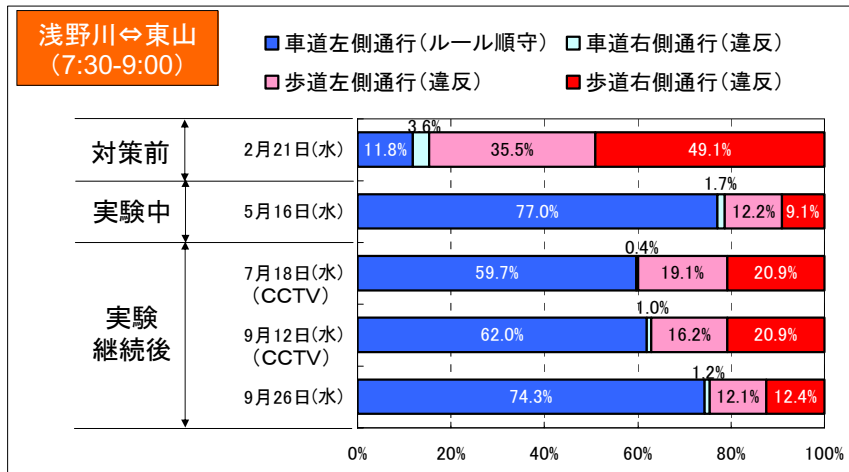


※現地で計測した5つの断面の平均割合で比較

## 1. 社会実験継続後の活動内容

### ②朝のバスレーン時間帯（浅野川～東山）

- ◆継続後、浅野川～東山間では順守率がやや低下
- ◆9/21の街頭指導後、順守率は再び7割台に向上

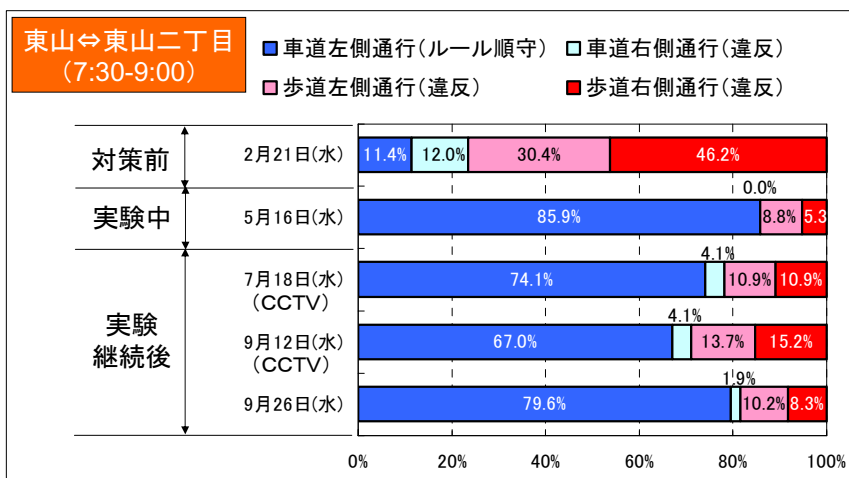


7

## 1. 社会実験継続後の活動内容

### ③朝のバスレーン時間帯（東山～東山二丁目）

- ◆継続後、東山～東山二丁目間でも順守率が低下
- ◆9/21の街頭指導後、順守率は再び8割に向上

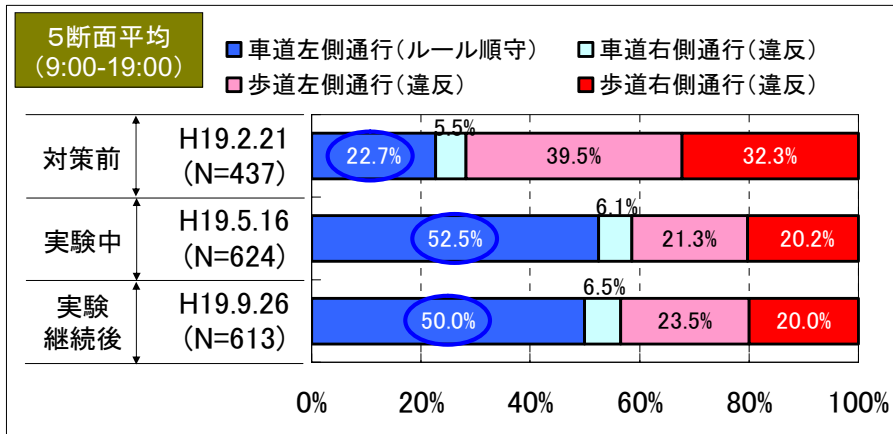


8

# 1. 社会実験継続後の活動内容

## ④日中～夕方の時間帯（区間全体）

- ◆対策後、ルール順守率は2割から5割に増加！
- ⇒バスレーン時間帯の指導強化が日中・夕方に波及



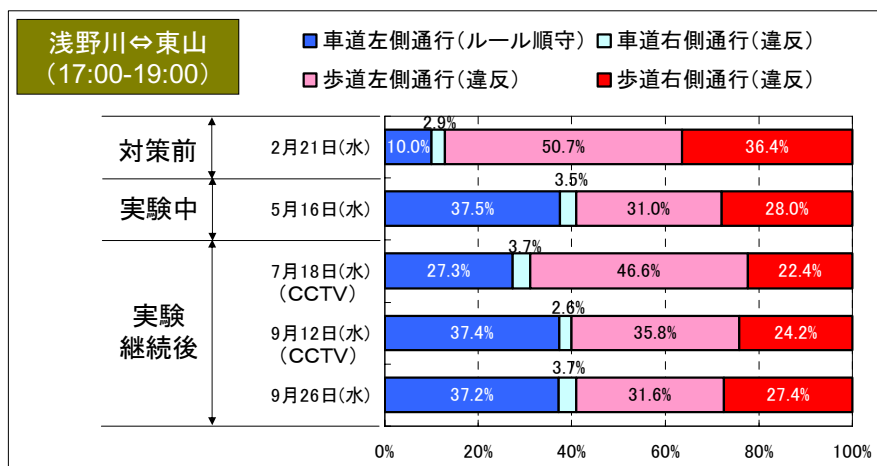
※現地で計測した5つの断面の平均割合で比較

9

# 1. 社会実験継続後の活動内容

## ⑤夕方ピーク時（浅野川～東山）

- ◆継続後、浅野川～東山間では順守率約4割を維持
- ◆対策前に比べると、順守率は約4倍に増加

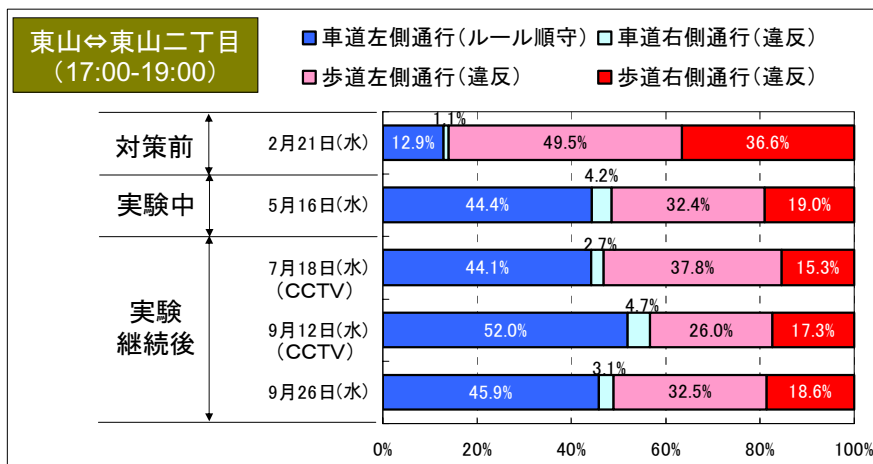


10

## 1. 社会実験継続後の活動内容

### ⑥夕方ピーク時（東山～東山二丁目）

- ◆継続後、東山～東山二丁目間では順守率約5割を維持
- ◆対策前に比べると、順守率は約4倍に増加



11

## 1. 社会実験継続後の活動内容

### ⑦自転車走行実態のまとめ

- ◆夏休みを挟んだ影響等により、順守率の低下がみられたが、朝のバスレーン時は約8割の自転車利用者がルールを守っており、対策前に比べて大幅に改善（順守率低下⇒街頭指導によりルールを再度徹底）
- ◆日中～夕方の順守率は約5割で朝より低いものの、対策前に比べて順守率が大幅に向上しており、指導帯が少しずつ浸透してきていると考えられる



自転車走行指導帯は自転車のルール・マナー向上に大きな効果あり  
 （安全教育・安全指導に有効な施設）

12



## 1. 社会実験継続後の活動内容

### (3) 社会実験結果の公表等

- ◆平成19年6月30日(土)北國新聞朝刊43頁  
⇒社会実験結果の公表、社会実験継続の周知
- ◆チラシ1万部の配布(地元町会、高校、小中学校、バス会社等)  
⇒結果公表、継続周知、ルール順守呼びかけ
- ◆ラジオでのアナウンス  
⇒実験継続の周知・PR
- ◆情報誌「アクタス」への掲載  
⇒実験継続の周知・PR
- ◆ホームページでの情報公開  
⇒社会実験効果の公表  
実験継続の周知・PR等



3

## 1. 社会実験継続後の活動内容

### (4) ヒアリングの実施

- ◆アンケートでは高校生やバス運転手の満足度が低い  
(高校生から「危険」との意見、バス運転手は「再検討」多数)  
⇒高校生及びバス運転手にヒアリングを実施

実施日	対象	人数
H19.7.11(水)	星稜高校	7名(男6女1)
H19.7.13(金)	金沢桜丘高校	6名(男1女5)
H19.8.6(月)	ほくてつバス	運転手2名



14

## 1. 社会実験継続後の活動内容

### ①ヒアリング結果概要－高校生－

- ◆危険箇所については、「東山交差点を左折する車が多い区間」を指摘(13人中5人)。
- ◆自転車走行指導帯の設置により、「走りやすくなった(13人全員)」「安全になった(13人中11人)」との意見が多い。
- ◆今回の社会実験により、全員が「朝夕ともにルールを守るようになった」と回答。しかし、信号を守る意識は低い。
- ◆電柱につけた看板は「ほとんど見ていない」との意見多数。
- ◆13人中12人が「今後も続けるべき」としており、中には他の区間への拡大を求める意見あり。
- ◆その他、路上駐車が多い区間や走りにくい区間などについて意見聴取し、危険箇所を把握。

15

## 1. 社会実験継続後の活動内容

### ②ヒアリング結果概要－バス運転手－

- ◆危険箇所については、森山二丁目交差点～山の上交差点付近のカーブ区間を指摘。
- ◆バスは、自転車が前方を走行している場合、右側車線に車線変更して追い越しているため、定時性に影響はない。
- ◆バス運転手は、自転車が前方を走行し、右側車線からの追い越しもできない場合、ストレスを感じている。
- ◆交通安全対策には肯定的であり、対策前の無秩序な状態よりは、対策後の方が安全になった。
- ◆今回の社会実験により、交通ルールに対する意識が向上したとの回答あり。

16



# 1. 社会実験継続後の活動内容

## ③危険な箇所等

これまでの問題箇所  
(東山交差点、信号を見落としやすい交差点、路地との交差点部…等)

+

ヒアリングで挙げられた  
問題箇所(右図)



問題箇所を特定した  
対策案の検討



# 2. 問題箇所を特定した対策案

## 1) 起点看板の設置

自転車走行指導帯のスタート位置がわかりにくい  
(浅野川大橋側)



自転車走行指導帯開始の看板設置(2ヶ月程度)

対策前



対策後



## 2. 問題箇所を特定した対策案

### 2) 東山交差点の安全対策（路面標示）

浅野川方面から東山交差点を左折する車が多いため、自転車走行指導帯を走りにくい（巻込みの危険）。

#### ①車道に「巻込み注意」の路面標示を設置

対策前



対策後



19

## 2. 問題箇所を特定した対策案

### 2) 東山交差点の安全対策（押しチャリ）

浅野川方面から東山交差点を左折する車が多いため、自転車走行指導帯を走りにくい（巻込みの危険）。

#### ②歩道上に「押しチャリマーク」を設置

対策前



対策後（イメージ）

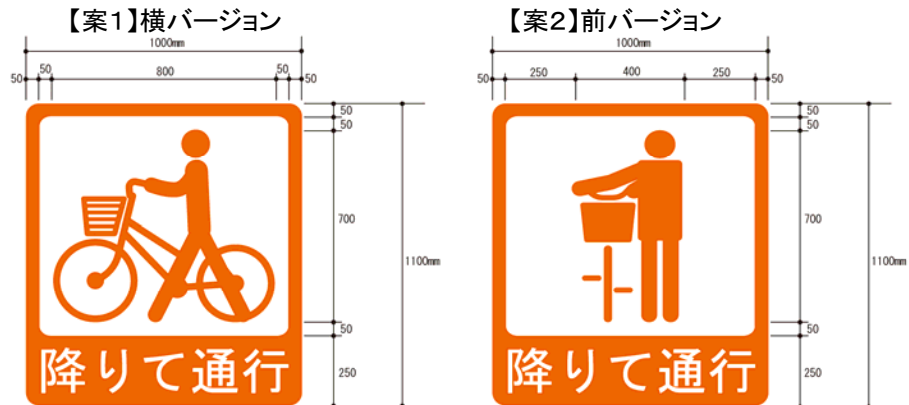


20

## 2. 問題箇所を特定した対策案

### 2) 東山交差点の安全対策（押しチャリ）

押しチャリマークのデザイン(案)



21

## 2. 問題箇所を特定した対策案

### 2) 東山交差点の安全対策（高輝度ライン）

浅野川方面から東山交差点を左折する車が多いため、  
自転車走行指導帯を走りにくい(巻込みの危険)。

③左折車にやや大回りしてもらう工夫



22

## 2. 問題箇所を特定した対策案

### 3) 信号順守に向けた対策

信号を無視している自転車が多い。  
(第3回協議会での意見、バス運転手ヒアリングより)

#### 信号交差点手前の指導帯内に路面標示

対策前



対策後(イメージ)



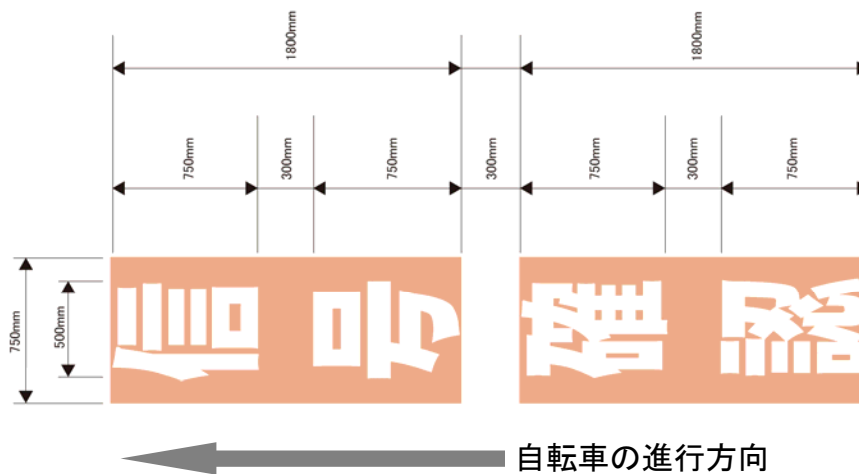
例) 森山二丁目交差点(海側)

23

## 2. 問題箇所を特定した対策案

### 3) 信号順守に向けた対策

「信号確認」の路面標示(10箇所設置)



24

## 2. 問題箇所を特定した対策案

### 4) 自転車の車道逆走防止に向けた対策

自転車走行指導帯を逆走している自転車が存在。  
進行方向の矢印を入れるべき(ヒアリングより)。

指導帯内に進行方向を示す矢印を標示

矢印の標示



※車道交差点部の進行方向指示  
標示と混同しないよう、交差点手  
前での設置を避け、**22箇所設置**。



25

## 2. 問題箇所を特定した対策案

### 5) 見通しの悪いカーブ区間の対策

森山二丁目～山の上のカーブ区間は見通しが悪く危険  
(カーブ先に存在する自転車が見えにくい)

カーブ手前に「自転車注意」の路面標示設置

対策前



対策後



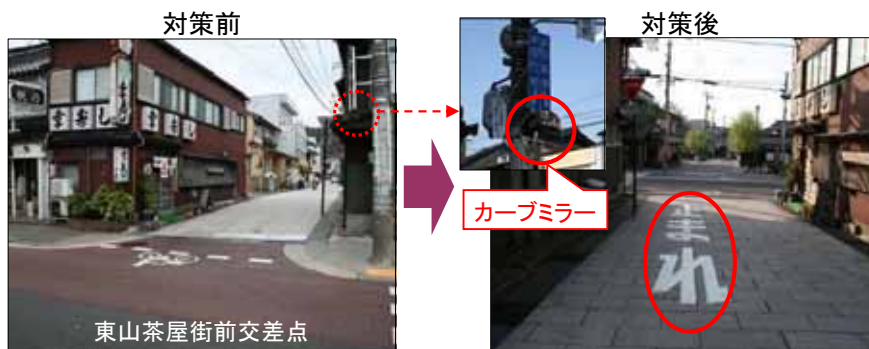
26

## 2. 問題箇所を特定した対策案

### 6) 東山茶屋街前交差点の路地対策

自転車走行指導帯を左側通行していると、路地から出てくるクルマが見えにくい。

#### カーブミラー&「止まれ」の路面標示設置



27

## 2. 問題箇所を特定した対策案

### 7) その他

高校生へのヒアリングでは、日中や夕方の沿道施設前での「路上駐車」に対する指摘あり。

対象区間は「駐車禁止」=「停車(5分以内)」はOK  
(朝7:30-9:00は「駐停車禁止」)

#### ルールの再認識・周知徹底(チラシ等)

- ①路上駐車がある場合、自転車は駐車車両手前で後方の安全を確認し、**第一走行車線内で迂回**。
- ②車道側を迂回できない場合は、**自転車から降りて歩道を通行**。

28